

学校法人 三幸学園

横浜スイーツ&カフェ専門学校

学校自己評価報告書

(平成27年度)

平成27年度 学校法人 三幸学園 横浜スイーツ&カフェ専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 梅田正憲

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 堀口れい

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、スイーツ・カフェ分野の学校として「食を通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、スイーツ・カフェ分野として「食を通じて健康と楽しさを提供できる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

教育理念：「技能と心の調和」

人材育成方針：素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで社会に貢献する人材を育成する。また、美味しくかわいいスイーツ・カフェを通じて時間と空間をトータルプロデュースし、人の心を豊かにする人材を育成する。「全てはお客様の笑顔とありがとうの為に」

教育目標：基礎力を高めレシピを自ら創りだせる力を身につける。素直で明るく自ら考えて動ける力を身につける。コミュニケーション能力が高く、お客様の喜びを自分の喜びとして考えられる人間性を育てる。食を通して、「笑顔・信頼・感動」を生み出す人材を共育。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

・食を通して、「笑顔・信頼・感動」を生み出す人材となる為に下記 9 点を教職員一丸となって生徒指導して、強化していく。

1. 大きな声で挨拶・返事をする
2. 自らの考えを持つ
3. 謙虚に聞く姿勢を持つ
4. 協調性を持つ
5. 何事もまず行動する
6. 心身ともにタフになる
7. 時間を守る
8. 常に衛生管理に努める
9. 技術向上に努める

・アクティブラーニング導入(受動的な授業形態から生徒が能動的な学習ができるような授業展開)

・夢のスケッチブック導入(目標を具体的に設定し、実行計画を立てて、日誌で振り返る)

・産学連携・地域連携の強化

3.評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	④ 3 2 1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 ③ 2 1

① 課題

業界のニーズに基づき、教育目標や育成人材方針の精度を高めていく。

② 今後の改善方策

就職先並びにインターン実習先との連携を高めていく活動を深め、業界動向を正確に把握し、本校が目指す方向性と業界が求める人材像とのブレをなくす。

③ 特記事項

食を通して、「笑顔・信頼・感動」を生み出す人材となる為に具体的に示した9つの点に関して、生徒自身の自己点検及び教員側からみた評価を導入することで、全校挙げての意識統一を図っている。

④ 委員コメント

- ・在学時からこの9ヶ条がとても大事だと理解していた。
- ・高校側としては進学先を決定するうえで、就職率・資格等数字を見ることもするが、その一方で素直である・挨拶ができる・気遣いができる、これらを学べる学校もとても重宝であるとする
- ・企業側としては、わざわざ入社スタートから挨拶等を教えなくても既にできているとありがたい
- ・会社としても、人間力を磨きたいと思っていてくれる人が入ってくるとマッチしやすい
よって、このような学校であるということをもっと外部に打ち出せていけるといいのではないかと感じる
- ・就職後、在学時に言われていた積み重ねが社会人として活きていると感じる

(2). 学校運営

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 3 2 1
人事、給与に関する制度は整備されているか	4 3 2 1
教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4 3 2 1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 2 1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4 3 2 1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 2 1

① 課題

- ・業務の効率化(情報システム含め)
- ・衛生教育の徹底

② 今後の改善方策

- ・業務フローを再点検し、自動化できる業務に関しては、情報化することで業務の効率化を図る
- ・教科会や全体会議、及び日々のコミュニケーションを強化し、学校の方針及びコンプライアンスの徹底を図る。
- ・飲食業を目指す学校として、地域のお客様に対する食の安心・安全を徹底

③ 特記事項

- ・年に3回は定期的に全教職員が集まり、学校運営方針の浸透・情報共有を積極的に行っている
その他にも授業に関することは教科会。生徒についてはクラス会議。日常の学校運営は担任会等、様々な会議を通して、情報共有と意思疎通を図っている。

④ 委員コメント

- ・生徒の為に頑張りすぎて帰りが遅くなりがちな教員に対して、定期的な声掛けをしていくことが必要ではないか
- ・労働時間の短縮に繋げるために、効率化して良い仕事と、そうではない仕事を分類していくべき
- ・互いのスケジュールを見える化してはどうか。
- ・業界としても労働時間ならびに業務効率化は非常に大きなテーマである。
- ・衛生は専門学校にいた時の方が徹底していた気がする、今の現場では衛生管理が足りないと感じている
一人が理解していてもアルバイトや他の社員に伝える事が難しいと感じている。
- ・現場でも衛生教育の徹底を図っている。①店舗内②厨房内③会社内 どこまで共有するかは商品部が決めていて、洗剤を変える・サランラップの色を変える等、細かいところで改善している。
手の菌検査・まな板の菌検査等に関しては抜き打ちで検査を受けている。

(3). 教育活動

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 (3) 2 1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 (3) 2 1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	(4) 3 2 1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	(4) 3 2 1
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	(4) 3 2 1
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	(4) 3 2 1
授業評価の実施・評価体制はあるか	(4) 3 2 1
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	(4) 3 2 1
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	(4) 3 2 1
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	(4) 3 2 1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	(4) 3 2 1
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4 (3) 2 1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 (3) 2 1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 (3) 2 1

① 課題

- ・教育活動の質の向上(企業側からの意見を積極的に教育活動において活かしていく)
- ・教員の質の向上に向けた効果的な研修

② 今後の改善方策

- ・より積極的に企業様に特別授業や教員研修を実施いただき、その評価をしっかりとその後の教育に活かす
- ・より多くの企業様とコラボレーションして実践的な職業教育プログラムを策定していく。

③ 特記事項

- ・企業様からの派遣講師がすでに授業を継続的に実施いただき、成績評価もつけていただいている。
- ・教育課程編成委員会にていただいたご意見を活かしている

④ 委員コメント

- ・外部からの講師が多いと刺激になる、受動的な授業の取り組み方だったように思う
- ・店舗実習や産学連携のプレゼンのおかげで、相手(お客様)のことを深く考えるようになった
- ・今後も企業側としてもできる限り協力をしていきたい。

(4). 学修成果

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	就職率の向上が図られているか	4	3	2
資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

① 課題

就職後の離職率低減に向けた教育プログラムと就職先斡旋
卒業生の現場での適応力・能力に関する効果測定

② 今後の改善方策

学校と卒業生を継続的に交流が持てる同窓会サイトの充実
定期的に複数の卒業生に来てもらい、在校生へ講話をしてもらう。
離職率調査実施継続

② 特記事項

- ・就職率:98.7% (平成28年3月31日現在)
- ・色彩検定3級合格率 87.0%(全国平均73.4%)
- ・サービス接遇検定3級合格率 96.1%(全国平均89.0%)
- ・平成27年度退学率 2.6% (平成26年度3.3%)

③ 委員コメント

- ・就職活動をする際に給料面は気にしていなかった。社長の姿勢に魅かれた、エリアを絞って考えた、人(シェフ)に魅かれた。
- ・採用活動を行っている過程で何をやりたいのか絞れていない学生が多いので、やりたいことが絞られていくプロセスがあると良いのではないかと。
- ・インターン実習でマッチしている子を選出させてもらっている。
- ・学生に対して色々な企業を見させて、ひとりひとりの軸を決めさせればよいのではないかと。
- ・今後より一層、現場で活躍している卒業生を活用すればよい。
- ・資格取得において、熱心な先生が多かった。

(5). 学生支援

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2
学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

① 課題

保護者・卒業生・高校との連携を人・システムともに進めていく

② 今後の改善方策

保護者:より積極的な行事への参加依頼。何かあればすぐに相互連絡する体制の強化

卒業生:継続的且つ密接な教員との情報共有システムの構築。同窓会サイトの充実

高校:積極的にこちらからもキャリア教育に関する連携を模索する。

③ 特記事項

経済的な支援:特待生制度・学費応援制度等

④ 委員コメント

- ・奨学金や特待生制度を活用させてもらったので、感謝している。
- ・母親からこの学校に入学してよかったねといわれた。
- ・高校として、今後も専門学校との連携を強め、進学指導を強めていきたい。
- ・卒業後、職場に巡回という形で先生方にもっと来てくれるとうれしい。

(6). 教育環境

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 (3) 2 1
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	(4) 3 2 1
防災に対する体制は整備されているか	4 (3) 2 1

① 課題

更に質の高い教育環境を整備していく。

② 今後の改善方策

社会のニーズをしっかりと的確に捉え、それに対応できる教育環境を整備する。

③ 特記事項

特になし

④ 委員コメント

- ・設備面で不満はなかった。
- ・インターンシップでの経験から就職につなげることができた

(7). 学生の受入れ募集

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学生募集活動は、適正に行われているか	(4) 3 2 1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 (3) 2 1
学納金は妥当なものとなっているか	4 (3) 2 1

① 課題

本校の教育理念を十分に理解して、志ある新入生の確保

② 今後の改善方策

募集活動を通して、本校の教育理念や特色を分かりやすく伝える。

③ 特記事項

一般社団法人 神奈川県専修学校各種学校協会が定めた募集時期や内容に関して、遵守している。

④ 委員コメント

- ・オープンキャンパスの時に在校生スタッフとして、自分の体験を高校生に説明したことはいい経験だった。
- ・高校側としては、正しい情報をわかりやすく伝えてもらいたい。また専門学校と高校との情報共有が重要だ。
- ・現場でもお客様の獲得は最優先事項であり、学校側においてはルールに基づいて新入生確保に努めてほしい。

(8). 財務

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

① 課題

財務情報についてよりわかりやすい公開

② 今後の改善方策

法人が設置する学校数が多い為、よりわかりやすい公開の仕方を工夫する必要がある。

③ 特記事項

- ・法人全体としては、予算も計画通り推移し、財務基盤も安定している
- ・私立学校振興助成法第 14 条第 3 項の規定に基づき、公認会計士による会計監査を受検している。また、私立学校法第 37 条の学校法人監事による業務監査及び関係監査を受検している。26 年度に神奈川県学校検査実施済み

④ 委員コメント

- ・これからも法令に準じた財務管理を行っていただきたい。
- ・中長期的な視点もより必要になってくる。

(9). 法令等の遵守

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

① 課題

更なる法令遵守の推進

② 今後の改善方策

会議や掲示物などを通じて、全ての教員に対して、法令遵守をさらに徹底させる
コンプライアンスムービー視聴

③ 特記事項

平成 26 年度自己評価結果より公開

④ 委員より

・コンプライアンスが非常に重要となってきているので、引き続き徹底を図っていただきたい。

(10). 社会貢献・地域貢献

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

① 課題

委託訓練等の教育訓練に関して

② 今後の改善方策

地域に対する公開講座・教育訓練について、積極的に実施していくことを計画中

③ 特記事項

- ・学内店舗実習の積極的展開(1階店舗実習室にて)
- ・地域貢献活動(ハロウィンイベント・幼稚園小学校イベント、横浜開港祭 等)

④ 委員より

- ・店舗実習やハロウィンイベントのように、地域の方と触れ合う機会はとても貴重だった
- ・企業イメージという観点からも地域貢献は大きなテーマとなっている。

(11). 国際交流(必要に応じて)

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4	3	2
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1
学内で適切な体制が整備されているか	4	3	2	1

① 課題

積極的な留学生募集を行っているとは言い難い

② 今後の改善方策

今後多数の留学生が入学した場合を想定して、適切な指導体制作り

③ 特記事項

特になし

④ 委員コメント

- ・今後の少子化に伴う入学者確保として留学生対応という観点が必要でないか。
- ・インバウンド対策として、現場では韓・中・米・仏語のメニューを用意したり、外国人スタッフを入れたりなど、様々な対応をしている。

全体を通して(委員より)

- ・卒業生として在学時代を振り返るいいきっかけとなったし、他企業の方のお話を聞けたことも為になった。
- ・専門学校での体制や教育内容及び実社会の話を知るこの機会には進路指導するうえで非常に有益な時間であった。来年度以降もぜひ参加したい。
- ・御校の教育の考え方、そして、職業教育の実践への熱心さがよくわかった。
- ・教育の熱が伝わってきた。企業も人材育成が最重要課題となっている。教育システムや理念は大変共感でき学びになった。